

## 第4章 企業からの学業などに対する配慮の状況等

### (1) 就職活動と学修時間確保の状況

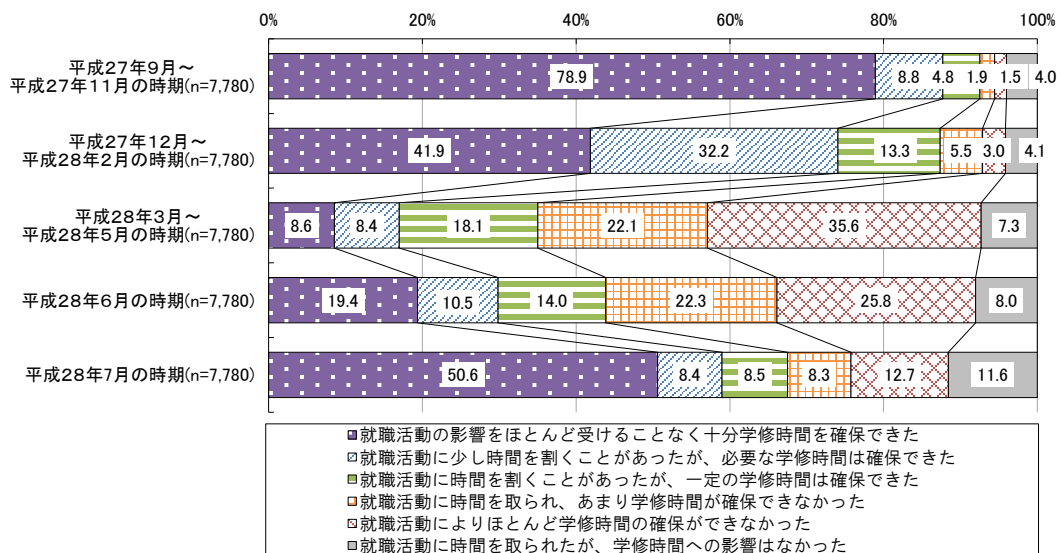
就職活動と学修時間確保の状況について、平成27年9月以降の状況をたずねた（図表4-1-1、図表4-1-2）。

大学4年生・大学院2年生ともに、「平成27年9月～11月の時期」については、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」が約8割となっている。「平成27年12月～平成28年2月の時期」についても、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」との回答割合が最も高く、また、「一定の学修時間は確保できた」までの回答が約9割となっている。

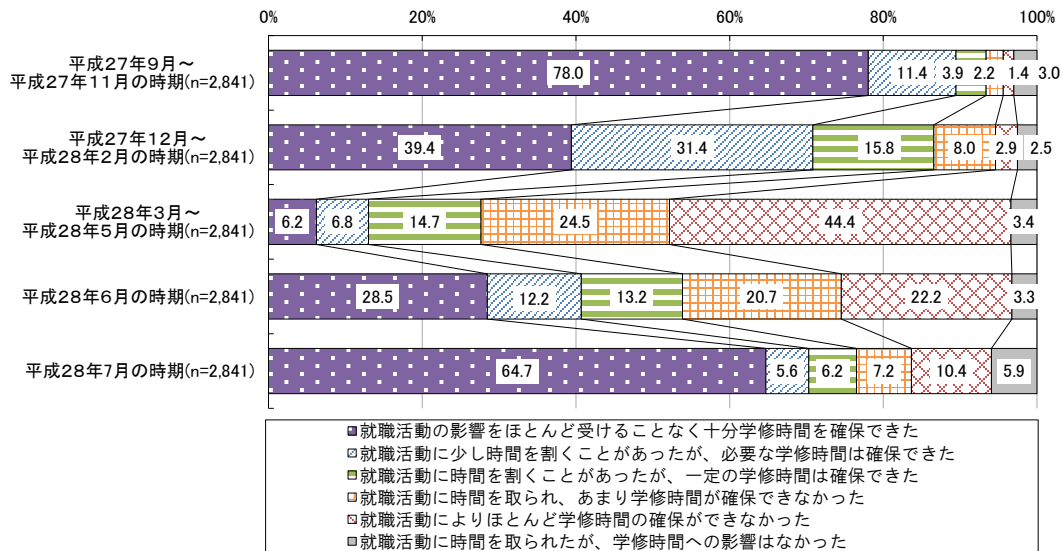
広報活動が開始された「平成28年3月～5月の時期」は、「就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった」との回答割合が最も高くなっている。「平成28年7月の時期」に関しては、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」の回答割合が大学4年生で5割以上、大学院2年生では6割以上と、再び高くなっている。

昨年度調査と比較すると（図表4-1-3、図表4-1-4）、今年度は、卒業・修了前年度の2月まで及び卒業・修了年度の6月・7月において学修時間が確保できたと回答した者の割合が高くなっている。

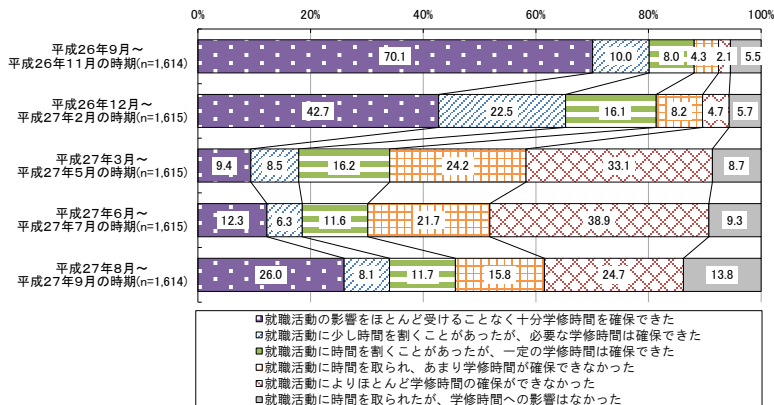
図表 4-1-1 大学4年生、就職活動と学修時間確保の状況



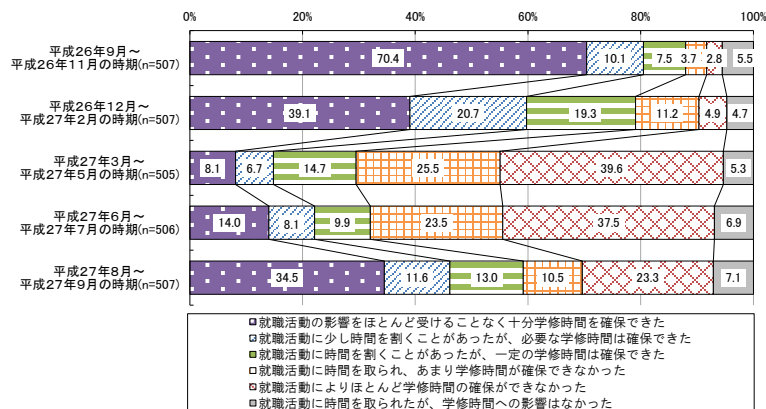
図表 4-1-2 大学院 2 年生、就職活動と学修時間確保の状況



図表 4-1-3 【参考・昨年度調査】 大学 4 年生、就職活動と学修時間確保の状況



図表 4-1-4 【参考・昨年度調査】 大学院 2 年生、就職活動と学修時間確保の状況

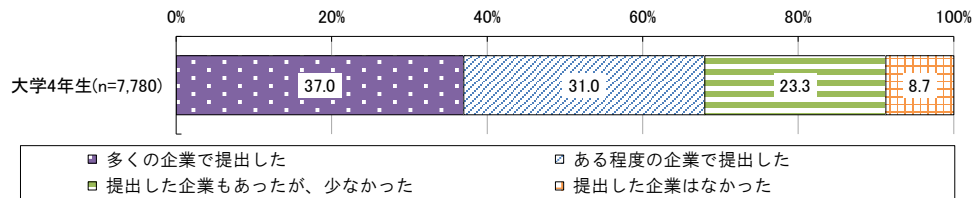


## (2) 学業重視の選考

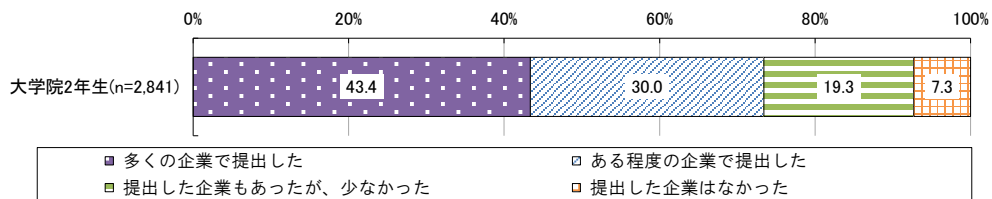
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかをたずねたところ、「多くの企業で提出した」との回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに約4割、「ある程度の企業で提出した」とあわせると、約7割となっている（図表4-2-1、図表4-2-2）。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについてたずねたところ、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は、大学4年生では約5割、大学院2年生では約7割となっている（図表4-2-3、図表4-2-4）。なお、昨年度調査と今年度調査とでは、大きな違いは見られない（図表4-2-5、図表4-2-6）。

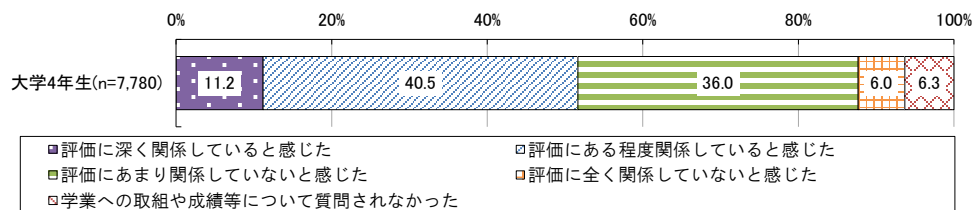
図表 4-2-1 大学4年生、履修履歴（成績証明書など）の提出の状況



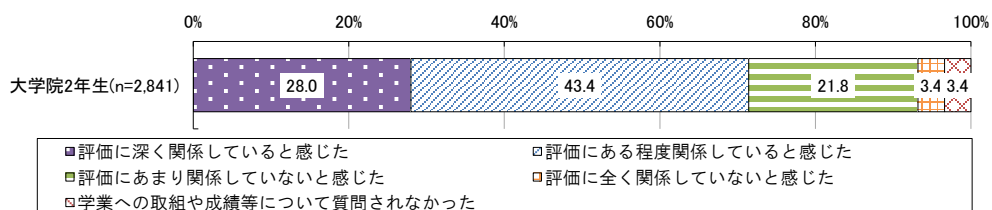
図表 4-2-2 大学院2年生、履修履歴（成績証明書など）の提出の状況



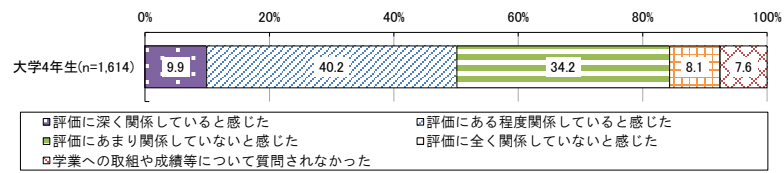
図表 4-2-3 大学4年生、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



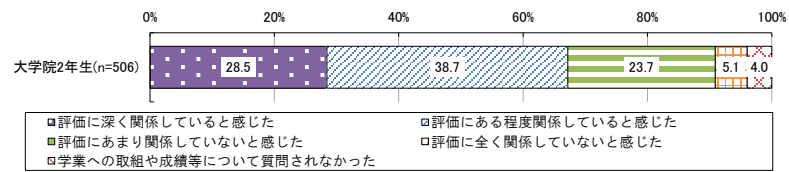
図表 4-2-4 大学院2年生、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



図表 4-2-5 【参考・昨年度調査】 大学4年生、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



図表 4-2-6 【参考・昨年度調査】 大学院2年生、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



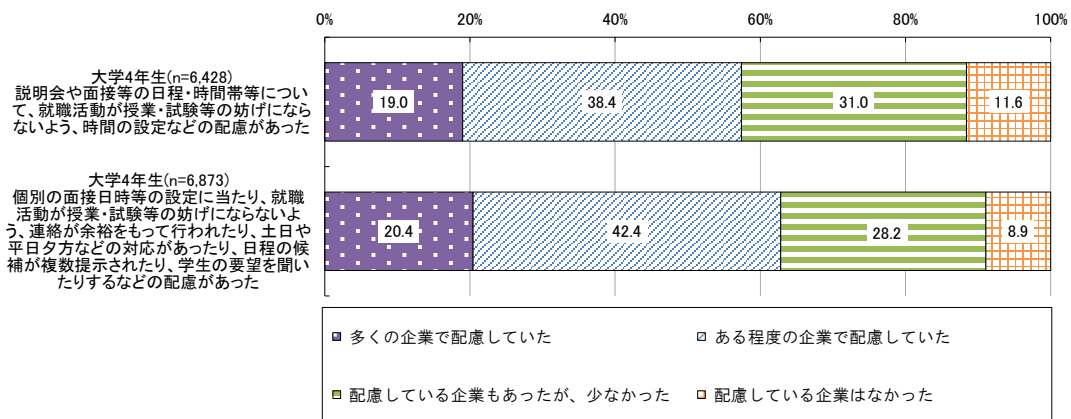
### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

就職活動を行った企業において、学生の学業などに対する配慮がされていたかについてたずねた（図表 4-3-1、図表 4-3-2）。

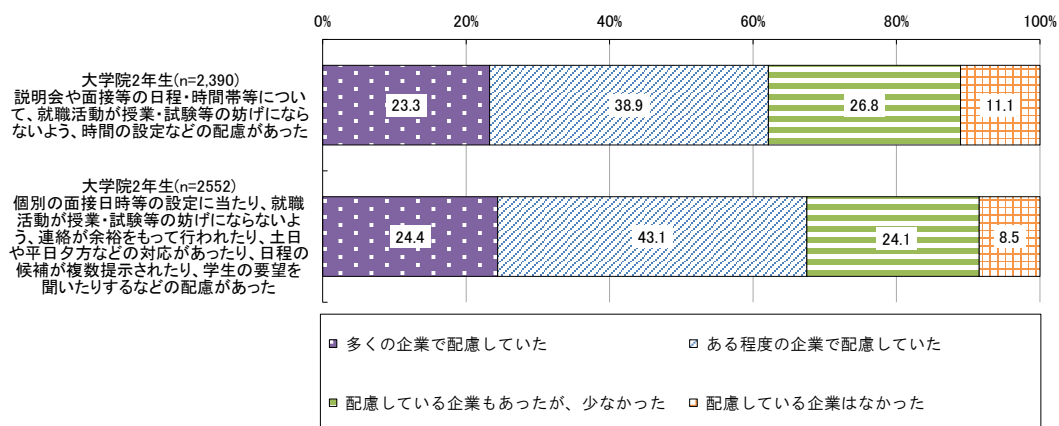
まず、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮があったか」に関しては、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した学生を除くと「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた割合が、大学4年生では6割弱、大学院2年生では6割強となっている。

また、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮があったか」については、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した学生を除くと「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた割合は、大学4年生で6割強、大学院2年生では7割近くとなっている。

図表 4-3-1 大学4年生、就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況



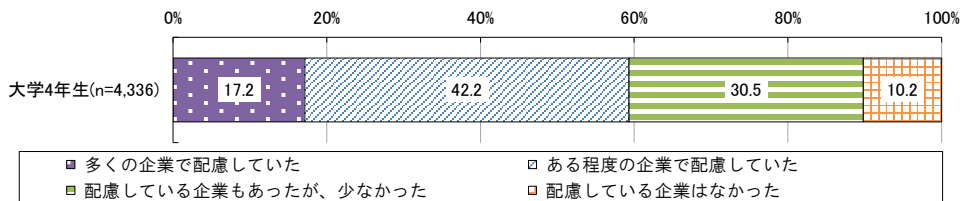
図表 4-3-2 大学院2年生、就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況



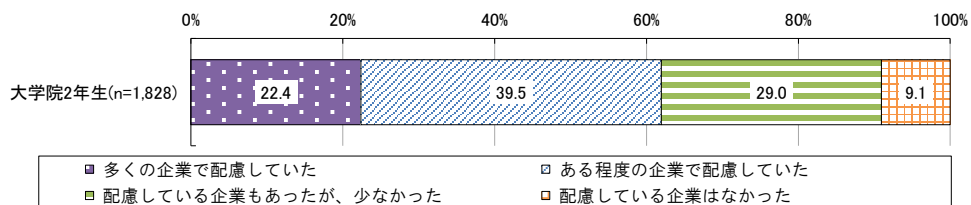
#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについてみると、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに約6割となっている<sup>35</sup>（図表4-4-1、図表4-4-2）。

図表 4-4-1 大学4年生、遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況



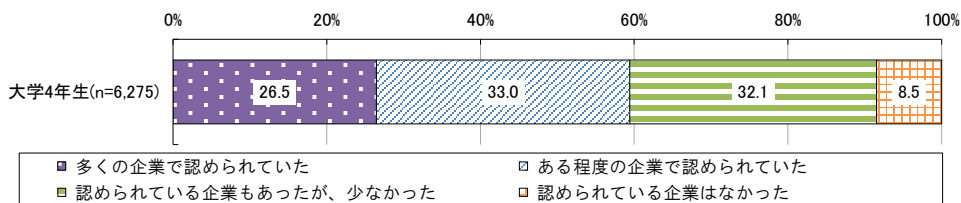
図表 4-4-2 大学院2年生、遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況



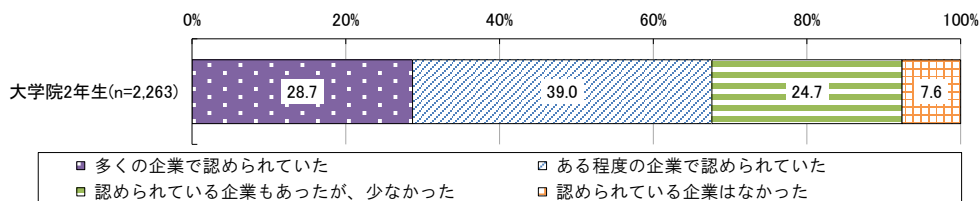
#### (5) クールビズでの対応

面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについてみると、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は、大学4年生では約6割、大学院2年生では約7割となっている<sup>36</sup>（図表4-5-1、図表4-5-2）。

図表 4-5-1 大学4年生、面接の実施におけるクールビズでの対応の状況



図表 4-5-2 大学院2年生、面接の実施におけるクールビズでの対応の状況



<sup>35</sup> 「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>36</sup> 「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は集計の対象外とした。

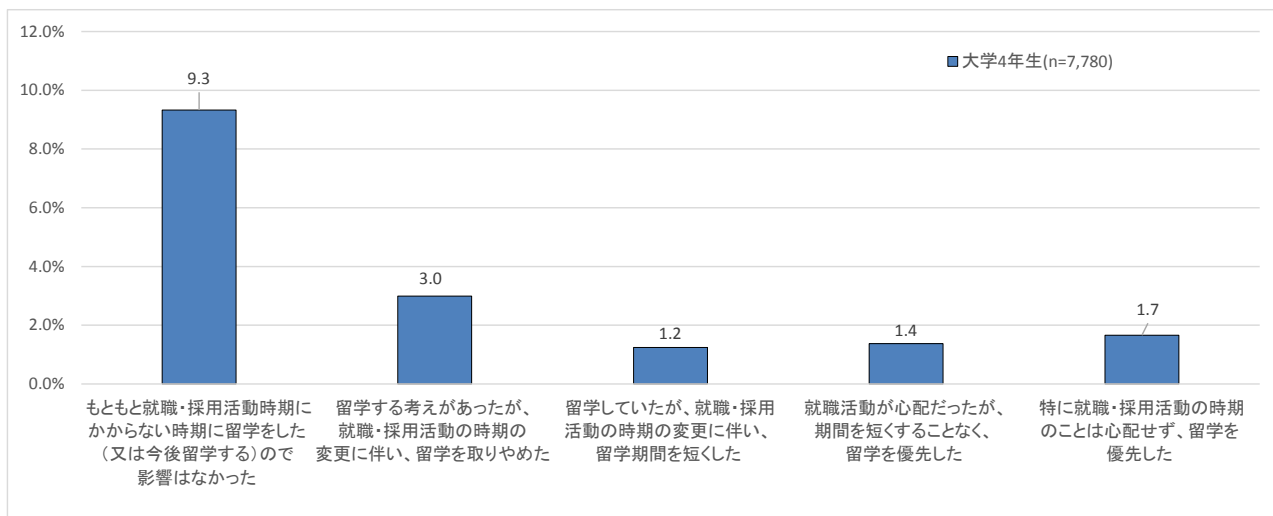
## (6) 留学経験者への配慮

### ①留学経験者（検討していた者）の状況

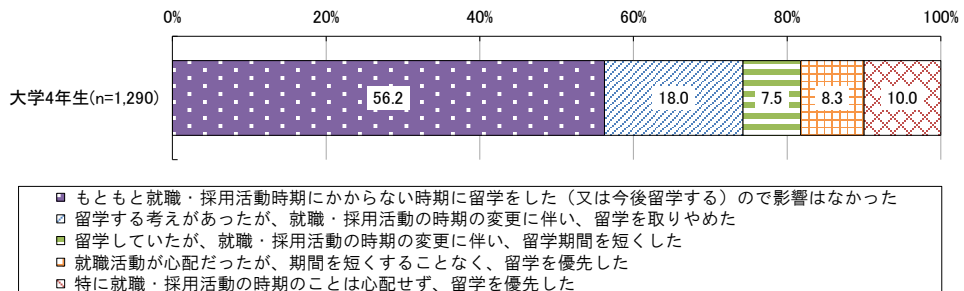
就職活動時期の変更により、留学の予定等に影響があったかについてみると、大学4年生全体のうち9.3%が、大学院2年生では全体の6.5%が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響がなかった」と回答している（図表4-6-1、図表4-6-2）。

また、大学4年生全体の3.0%、大学院2年生全体の2.1%が「留学する考えがあったが、就職・採用活動の時期の変更に伴い、留学を取りやめた」と回答している。

図表 4-6-1 大学4年生、留学経験者（検討していた者）の状況

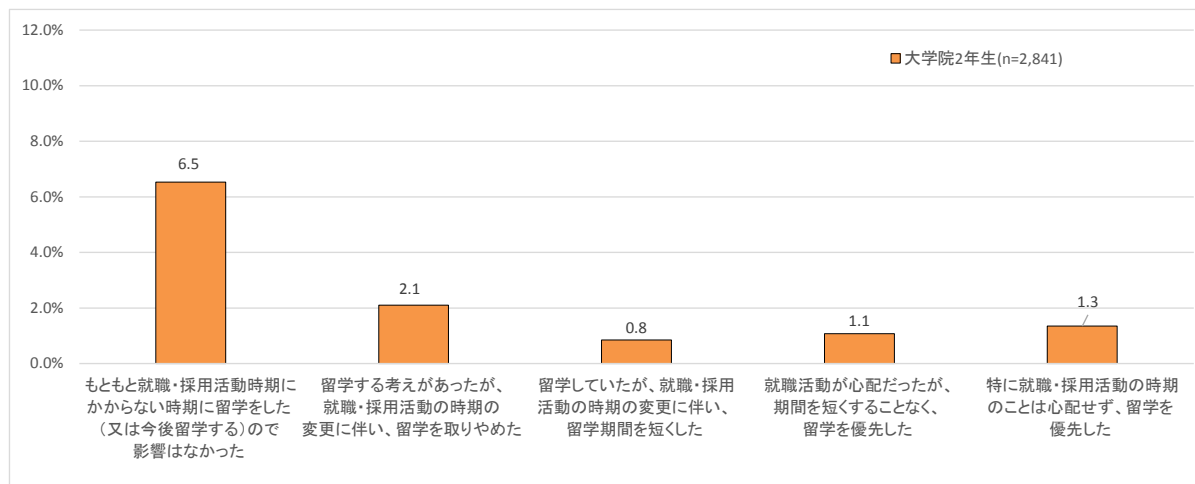


※全体の83.4%は「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答

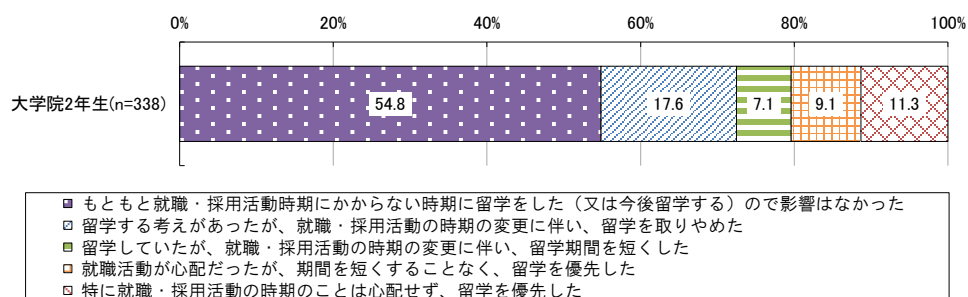


※「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」の回答を除いて集計

図表 4-6-2 大学院2年生、留学経験者（検討していた者）の状況



※全体の88.1%は「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答



※「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」の回答を除いて集計

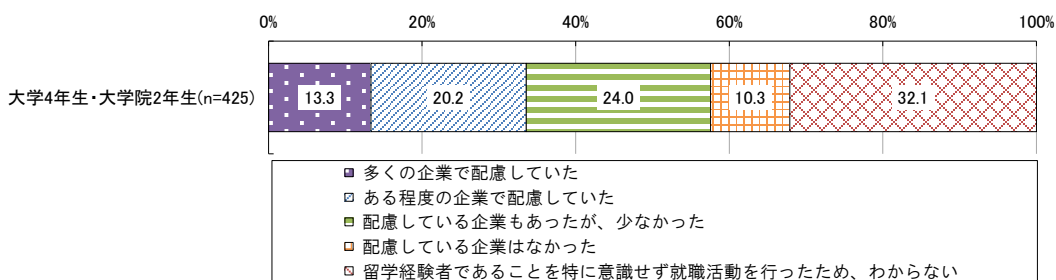


## ②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

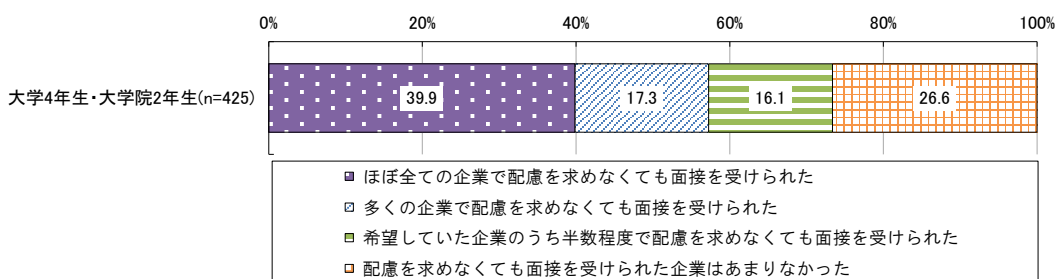
就職・採用活動期間中に留学を実際にしていた者<sup>37</sup>に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないような配慮があったかについてたずねたところ、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」との回答割合が最も高いが、それを除くと、「多くの企業が配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」とを合わせた割合と、「配慮している企業もあったが、少なかった」「配慮している企業はなかった」を合わせた割合とが同程度となっている<sup>38</sup>（図表 4-6-3）。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、又は留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかをたずねたところ、「ほぼすべての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の割合が最も高くなっている（図表 4-6-4）。他方で、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」の割合も比較的高くなっている。

図表 4-6-3 企業側から留学経験者に対する配慮の状況



図表 4-6-4 留学経験者、配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況



<sup>37</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の時期の変更に伴い、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した（以下同様）。

<sup>38</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した。なお、合わせて集計するにあたり、集計対象に占める大学4年生及び大学院2年生の分布が、必ずしも母集団の分布に沿ったものとなっているわけではない可能性がある点には留意が必要である。

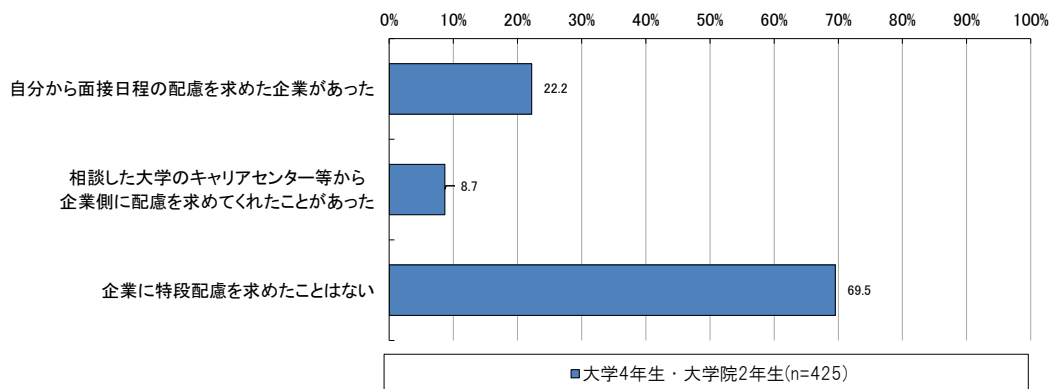
### ③配慮を求めた際の対応等

留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったかをたずねたところ、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約2割、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答が約1割であった（図表 4-6-5）。

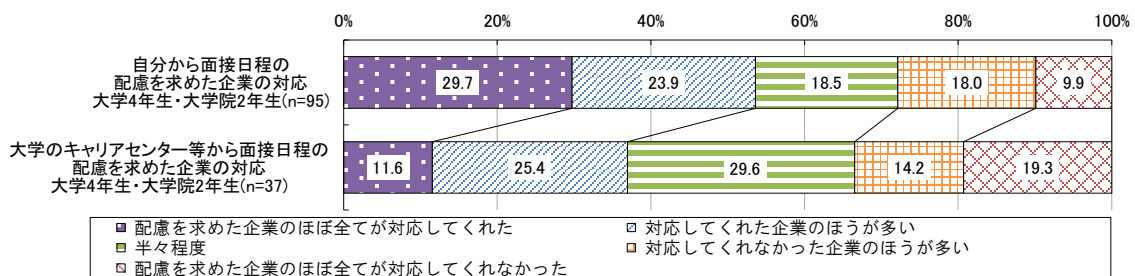
自分から、あるいは大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ、自分から配慮を求めた場合、「配慮を求めた企業のほぼすべてが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合が合わせて5割以上となっている（図表 4-6-6）。大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合は、「配慮を求めた企業のほぼすべてが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」との回答が合わせて4割弱となっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかをたずねたところ、「面接を諦めた企業はあまりなかった」との割合が6割以上となっている（図表 4-6-7）。

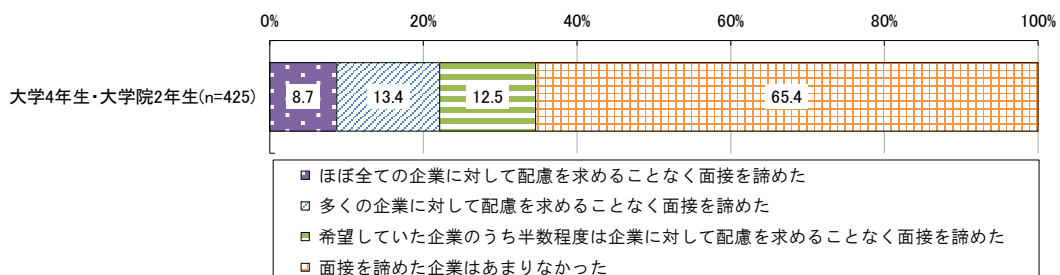
図表 4-6-5 留学経験者、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか（複数回答）



図表 4-6-6 留学経験者、配慮を求めた場合の企業の対応



図表 4-6-7 留学経験者、配慮を求めず面接を諦めた企業の状況



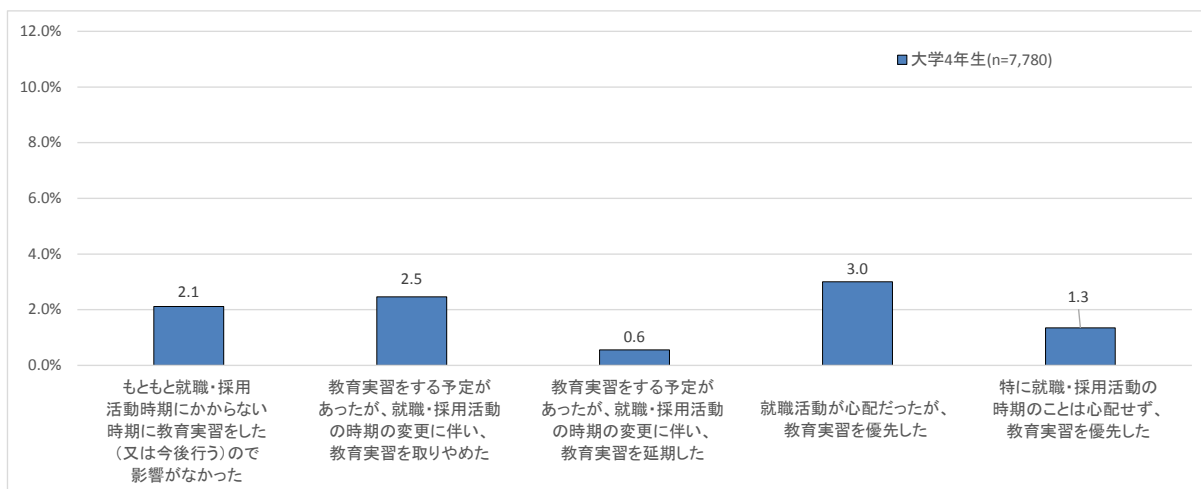
## (7) 教育実習受講者への配慮

### ①教育実習受講者（検討していた者）の状況

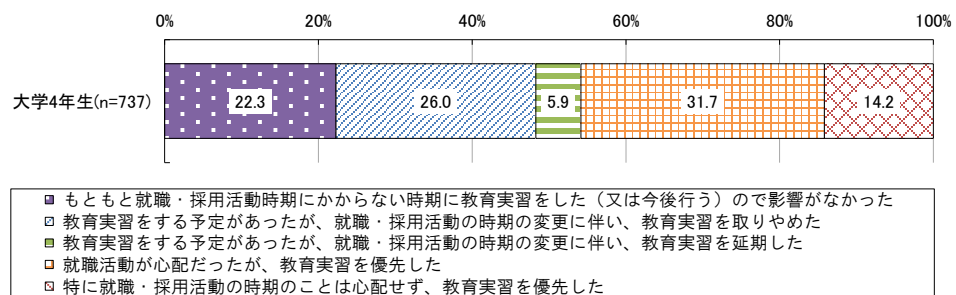
就職活動時期の変更により、教育実習の予定等に影響があったかについてみると、大学4年生では全体の3.0%が「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」と回答し、全体の2.5%が「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の時期の変更に伴い、教育実習を取りやめた」と回答している（図表4-7-1）。

大学院2年生では、全体の7.5%が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」と回答し、全体の1.0%が「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答している（図表4-7-2）。

図表 4-7-1 大学4年生、教育実習受講者（検討していた者）の状況

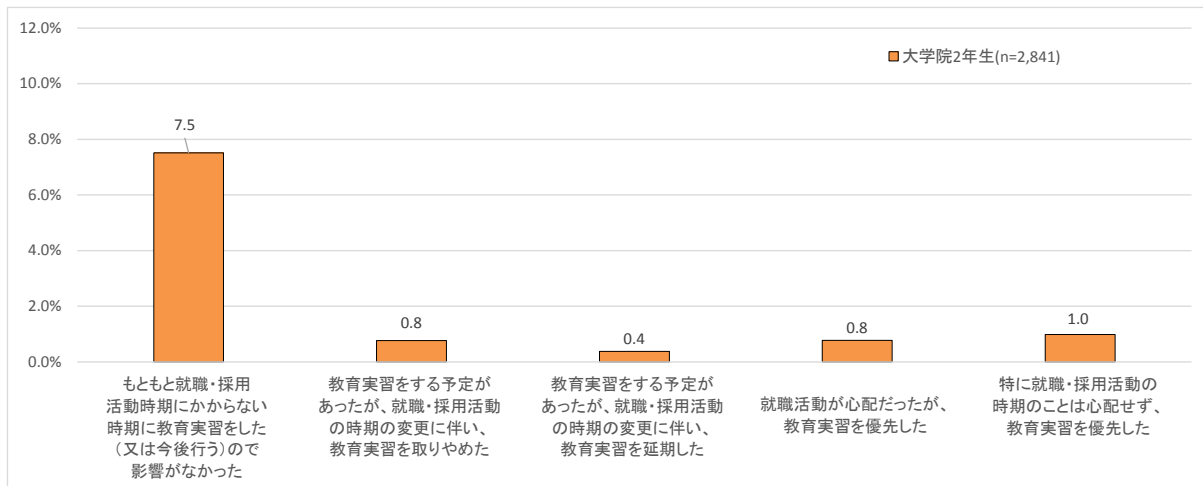


※全体の90.5%は「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受講していない」と回答

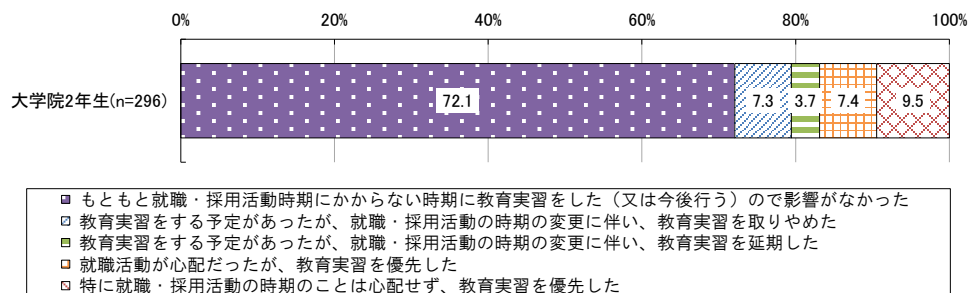


※「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受講していない」の回答を除いて集計

図表 4-7-2 大学院 2 年生、教育実習受講者（検討していた者）の状況



※全体の 89.6%は「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受講していない」と回答



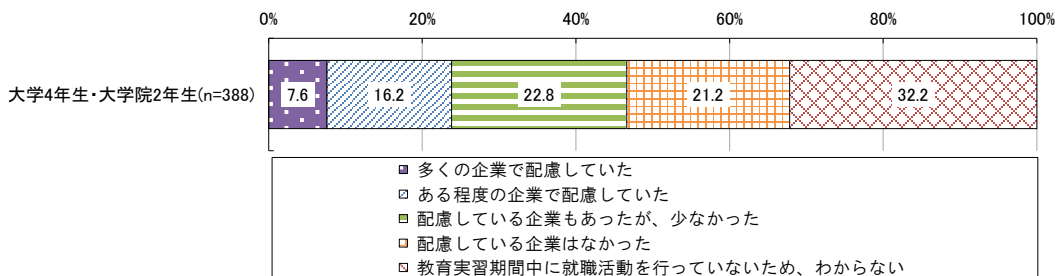
※「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受講していない」の回答を除いて集計

## ②企業側から教育実習受講者への配慮の状況

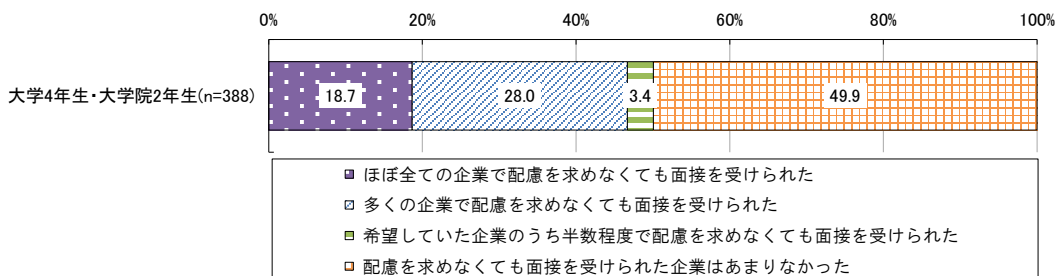
教育実習を実際に受講していた者<sup>39</sup>に関して、就職を希望した企業において、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮があったかをたずねたところ、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」との回答割合が最も高いが、それを除くと、「配慮している企業もあったが、少なかった」「配慮している企業はなかった」との割合が比較的高くなっている<sup>40</sup>（図表 4-7-3）。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が教育実習と重なっていなかった、又は教育実習受講者等のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかをたずねたところ、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」の回答が約 5 割となっている（図表 4-7-4）。

図表 4-7-3 企業側から教育実習受講者に対する配慮の状況



図表 4-7-4 教育実習受講者、配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況



<sup>39</sup> 「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した（以下同様）。

<sup>40</sup> 教育実習受講者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した。なお、合わせて集計するにあたり、集計対象に占める大学4年生及び大学院2年生の分布が、必ずしも母集団の分布に沿ったものとなっているわけではない可能性がある点には留意が必要である。

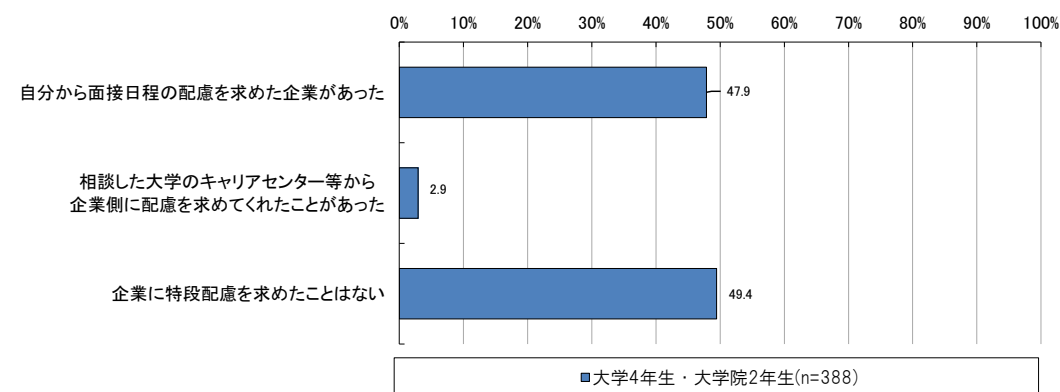
### ③配慮を求めた際の対応等

教育実習と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったかをたずねたところ、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が5割弱となっている（図表4-7-5）。

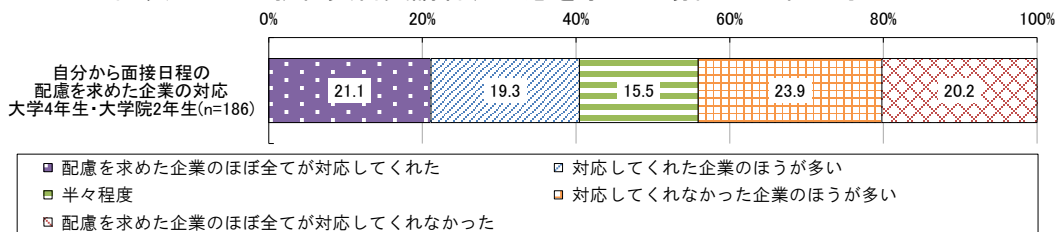
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ<sup>41</sup>、「配慮を求めた企業のほぼすべてが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」との回答割合は合わせて約4割となっている（図表4-7-6）。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として教育実習と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかをたずねたところ、「面接を諦めた企業はあまりなかった」との回答割合は5割以上となっている（図表4-7-7）。

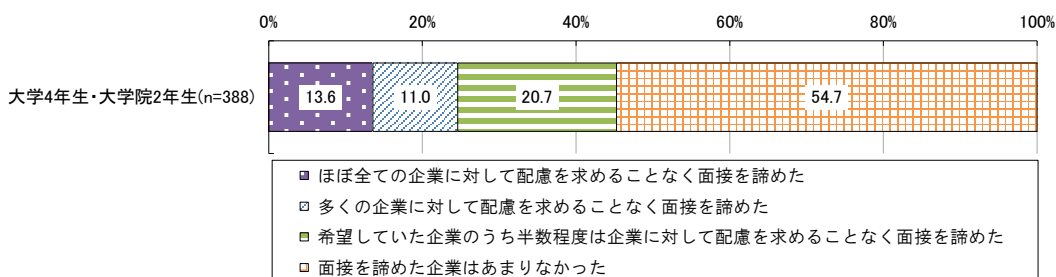
図表 4-7-5 教育実習受講者、就職を希望した企業に対して面接日程について  
配慮を求めたことがあったか（複数回答）



図表 4-7-6 教育実習受講者、配慮を求めた場合の企業の対応



図表 4-7-7 教育実習受講者、配慮を求めず面接を諦めた企業の状況



<sup>41</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の度数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

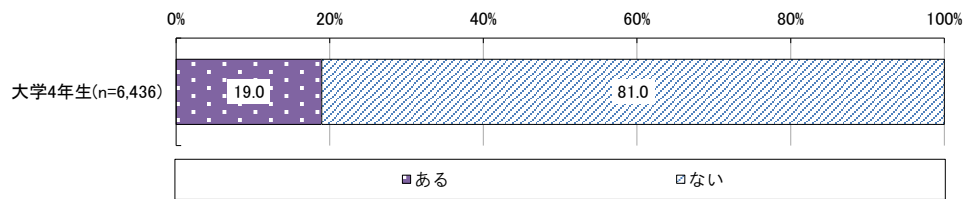
## (8) ハラスメント的な行為の状況

### ①ハラスメント的な行為の有無

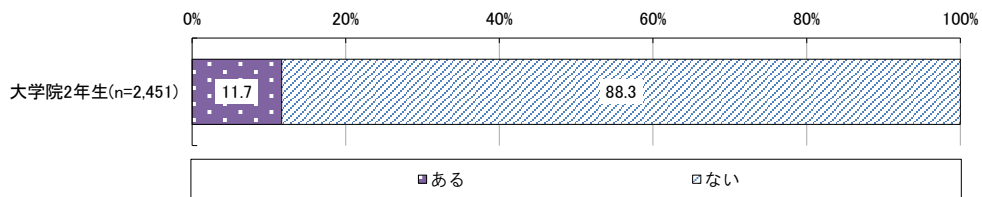
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたことがあるかについてたずねたところ<sup>42</sup>、大学4年生では約2割、大学院2年生では約1割の者が「ある」と回答している（図表4-8-1、図表4-8-2）。

なお、昨年度調査と比較すると（図表4-8-3、図表4-8-4）、大学4年生・大学院2年生ともに、「ある」と回答した者の割合は若干低くなっている。

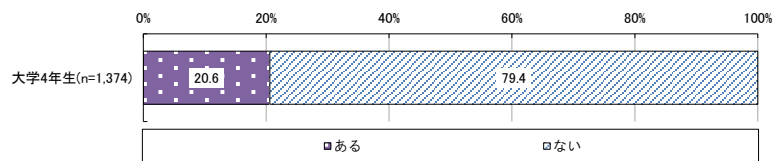
図表 4-8-1 大学4年生、企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無



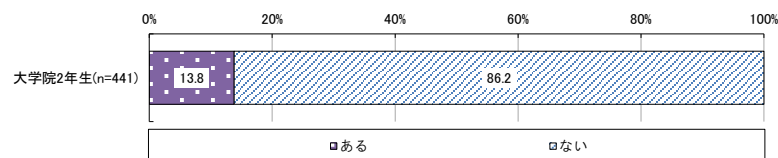
図表 4-8-2 大学院2年生、企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無



図表 4-8-3 【参考・昨年度調査】大学4年生、企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無



図表 4-8-4 【参考・昨年度調査】大学院2年生、企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無

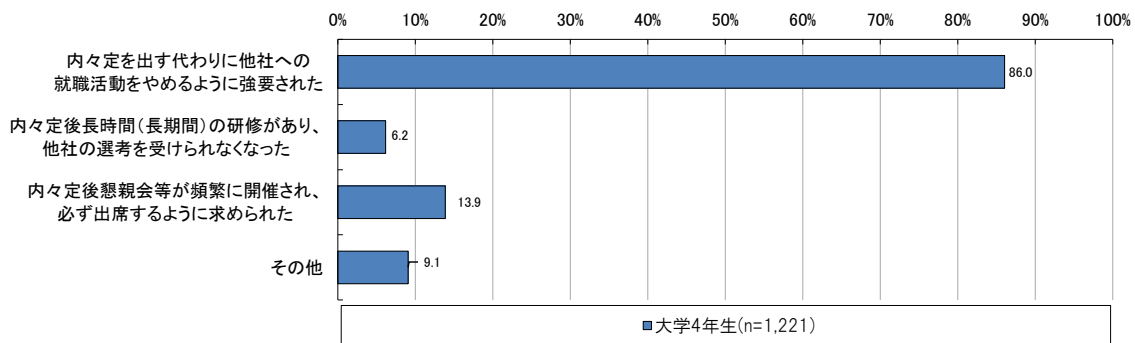


<sup>42</sup> 平成28年8月1日時点で内々定を1社以上から受けている者を集計の対象とした。なお、昨年度調査では平成27年10月1日時点で内々定を1社以上から受けていた者を集計の対象としている。

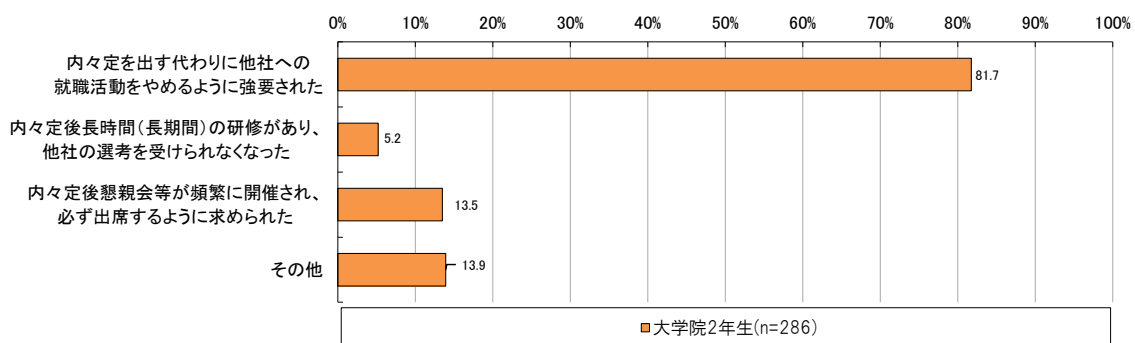
## ②ハラスメント的な行為の内容

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたかについて「ある」と回答した者に、どのようなハラスメント的な行為を受けたかについてたずねたところ、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」との回答割合が大学4年生・大学院2年生ともに8割以上となっている（図表4-8-5、図表4-8-6）。

図表 4-8-5 大学4年生、企業から受けたハラスメント的な行為の内容（複数回答）



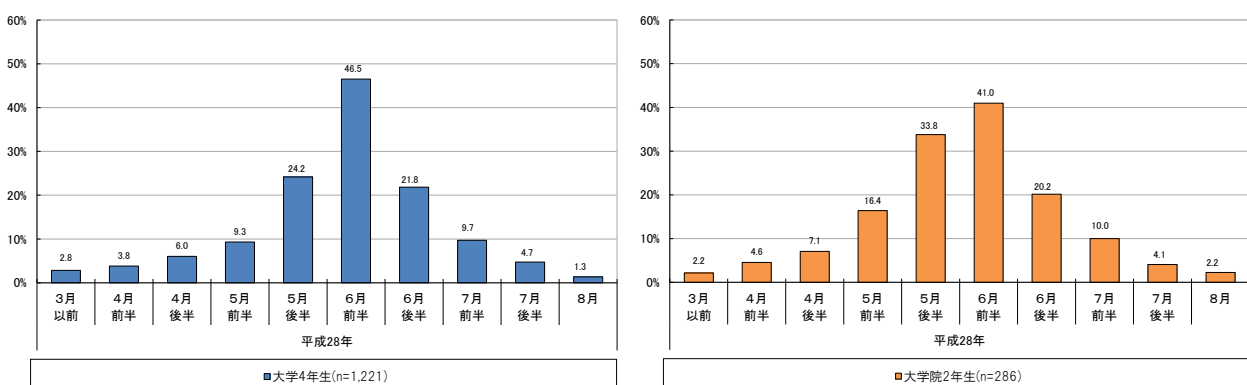
図表 4-8-6 大学院2年生、企業から受けたハラスメント的な行為の内容（複数回答）



## ③ハラスメント的な行為があった時期

ハラスメント的な行為を受けた時期としては、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年6月前半」との回答割合が4割以上と最も高くなっている。なお、大学院2年生では、「平成28年5月後半」との回答割合が3割以上と、大学4年生に比べて高くなっている（図表4-8-7）

図表 4-8-7 企業からハラスメント的な行為を受けた時期（複数回答）

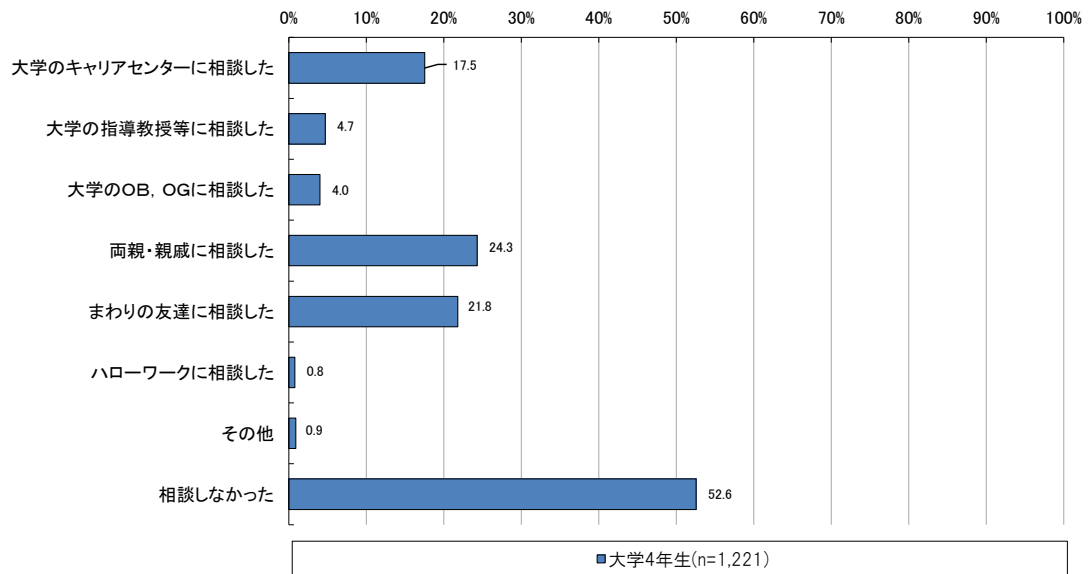




#### ④ハラスメント的な行為への対応

ハラスメント的な行為を受けた経験がある者について、その際の対応をみると、大学4年生・大学院2年生ともに、「誰にも相談しなかった」との回答割合が5割以上と最も高く、以下「両親・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」「大学のキャリアセンターに相談した」と続いている（図表4-8-8、図表4-8-9）。

図表 4-8-8 大学4年生、企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）



図表 4-8-9 大学院2年生、企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）

